



令和5年度 第1回 福岡PPPプラットフォームセミナー

PPPロングリスト、ショートリスト 事業紹介について

2023.7.21

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課



目次

1. 福岡PPPプラットフォームについて

2. ロングリスト・ショートリストについて

PPPロングリスト

PPPショートリスト



1. 福岡PPPプラットフォームについて

1 福岡PPPプラットフォーム

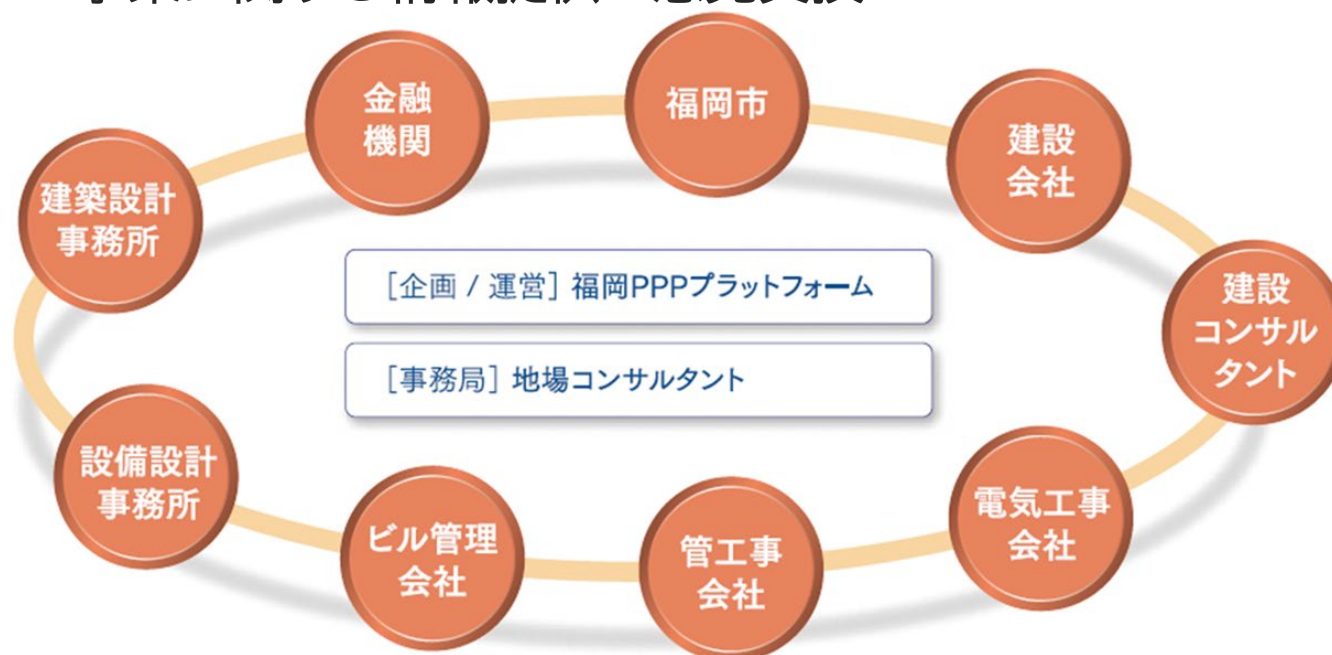
目的

地場企業のPPPに関する**事業ノウハウ習得**と

取組

企画提案力、事業遂行力等の向上による**競争力強化**を図る

- 企画提案力や事業遂行力の向上につながる他都市の事例研究
- コンソーシアムの形成に向けた異業種との出会いの場の提供
- 福岡市の事業に関する情報提供と意見交換



福岡市に本店を置く企業であれば、業種、規模を問わない

1 福岡PPPプラットフォーム

平成23年6月以降、これまで42回開催

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
平成23年度	79団体/115名	77団体/103名	66団体/96名	72団体/102名	69団体/91名
平成24年度	69団体/99名	74団体/106名	71団体/106名	66団体/93名	—
平成25年度	62団体/96名	47団体/71名	53団体/70名	—	—
平成26年度	43団体/65名	46団体/65名	42団体/54名	53団体/74名	—
平成27年度	51団体/70名	52団体/74名	43団体/57名	—	—
平成28年度	62団体/80名	47団体/62名	46団体/62名	49団体/65名	—
平成29年度	56団体/72名	39団体/51名	14団体/20名	46団体/62名	—
平成30年度	45団体/52名	50団体/73名	37団体/52名	—	—
令和元年度	40団体/58名	25団体/42名	27団体/41名	—	—
令和2年度	24団体/51名	28団体/51名	24団体/33名	—	—
令和3年度	28団体/38名	28団体/41名	26団体/35名	—	—
令和4年度	27団体/53名	25団体/43名	13団体/22名	—	—

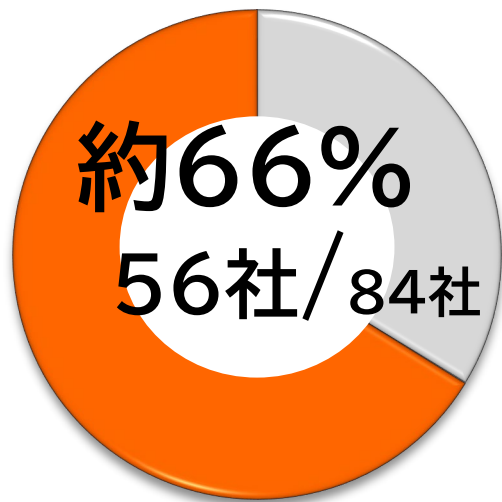
これまで42回開催
のべ1,941団体/
2,766名 参加

1 福岡PPPプラットフォーム

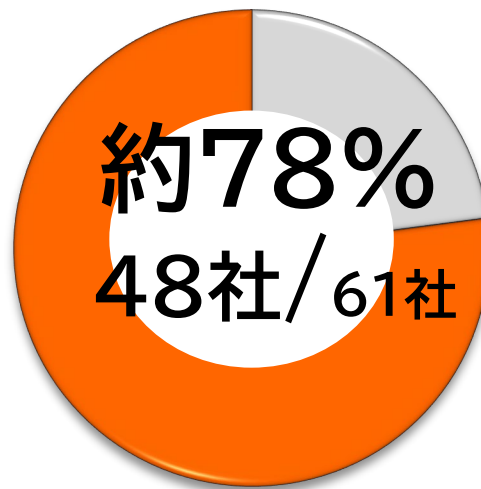
地場企業の事業参画状況

福岡PPPプラットフォーム参加者の福岡市PPP/PFI事業への参画実績

PPP/PFI事業へ応募した地場企業のうち、
福岡PPPプラットフォームへ参加している企業



PPP/PFI事業へ参画した地場企業のうち、
福岡PPPプラットフォームへ参加している企業



令和3年度プラットフォームに関するアンケート結果抜粋

- ・市の最新の事業内容をリアルタイムで聞けることは非常によい
- ・コロナ前ほどの他業種交流ができないのは残念
- ・新たな企業が参加するための場とすることが重要

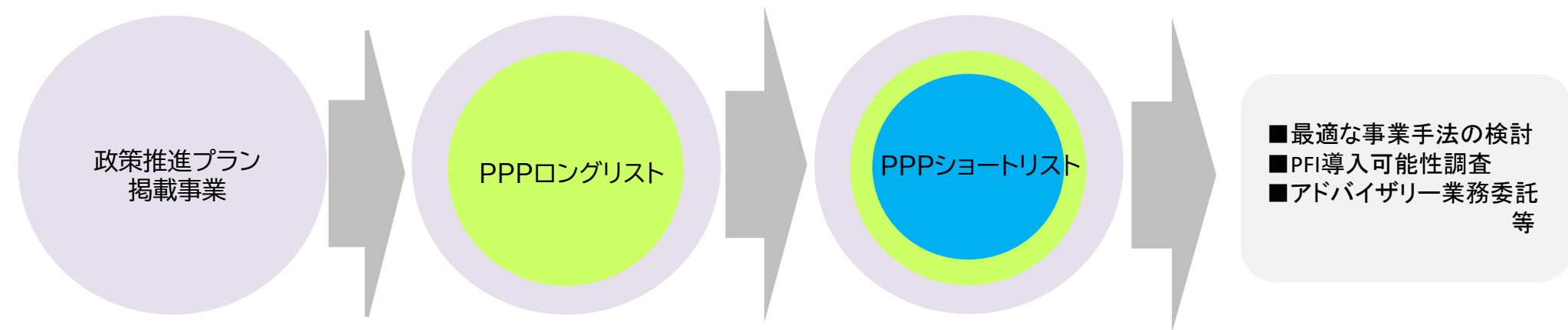


2. ロングリスト・ショートリストについて



2 PPPロングリスト、ショートリストについて

最適な事業手法を検討すべき事業の抽出や民間事業者への事業情報の提供を目的として、「PPPロングリスト」「PPPショートリスト」を作成し、毎年度当初に公表しています。



PPPロングリスト

将来的にPPPを含めた事業手法検討の可能性のある施設整備事業のリスト

PPPショートリスト

事業の具体的な検討が始まり、事業手法に関する調査等の予算が措置された事業のリスト

2 PPPロングリスト, ショートリストについて

福岡市役所HP「PPP/PFI：官民協働による公共施設の整備」

福岡市 FUKUOKA CITY

ホーム スマホサイト 見やすさ、使いやすさを調整 音声読み上げ 文字サイズ

Google 検索

サイト内検索について 防災情報 救命医療・消防

暮らし・手続き 子育て・教育 健康・医療・福祉 観光・魅力・イベント 創業・産業・ビジネス 市政全般

更新日：2015年11月2日

PPP/PFI：官民協働による公共施設の整備

福岡市では、公共施設の大量更新時期を迎え、財政状況が厳しさを増す中においても、社会・経済環境の変化に柔軟に対応しながら、市民の暮らしを支える公共サービスの提供と都市の成長に向けた社会資本整備を持続的に展開していくため、民間の経営ノウハウや技術力、資金を活用した官民協働事業（PPP）に取り組んでいます。

PPP/PFI事業	現在進行中の事業や今後取り組む予定の事業
福岡PPPプラットフォーム	官民協働事業に関するノウハウ習得や、地場企業と市の意見交換の「場」
民間提案等制度	事業の初期段階から、民間事業者の創意工夫やノウハウ、アイデアを募集
福岡市の方針・ガイドライン等	官民協働事業に取り組むにあたっての本市の基本的な考えや手続等

クリック

福岡市 FUKUOKA CITY

ホーム スマホサイト 見やすさ、使いやすさを調整 音声読み上げ 文字サイズ

Google 検索

サイト内検索について 防災情報 救命医療・消防

暮らし・手続き 子育て・教育 健康・医療・福祉 観光・魅力・イベント 創業・産業・ビジネス 市政全般

更新日：2021年4月1日

福岡市の方針・ガイドライン等

(1) 官民協働事業（PPP）への取組方針

福岡市がPPPに取り組むにあたっての、対象事業や事業手法の選定基準、全庁的な事業推進体制、地場企業の参画促進に向けた考えなど福岡市の基本的な考え方を定めた「官民協働事業（PPP）への取組方針」（以下「取組方針」）を策定し、平成24年4月より施行しています。

- 官民協働事業（PPP）への取組方針（平成26年4月版） (2,120kbbyte)

(2) PFIガイドブック

「PFIガイドブック」とは、「福岡市PFIガイドライン」（第1版策定：平成13年7月、第2版改訂：平成16年3月）について、「官民協働事業（PPP）への取組方針」との関係を整理するとともに、職員及び民間事業者の実務者向けガイドとして、PFIの基礎事項及び実際の手続きにかかる事項に内容を絞って再構成したものです。

- PFIガイドブック（令和3年4月） (5,599kbbyte)

(3) PPP/PFI民間提案等ガイドブック

「民間事業者からのPFI法第6条に基づく「民間提案」及び同法に基づかない任意の「民間発案」を積極的に受け入れるため、福岡市の対応方針（受付体制や対応方針、手続等）を定めた「PPP/PFI民間提案等ガイドブック」を新たに策定し、平成26年度より運用を開始しました。

- PPP/PFI民間提案等ガイドブック（平成27年11月） (596kbbyte)

(4) PPPロングリスト・PPPショートリスト

福岡市では、今後、PFIを始めとしたPPPによる事業化の可能性がある事業を「PPPロングリスト」に、PPPによる事業化の可能性がある事業の内、事業手法検討業務委託や、事業化手続業務委託を行うための予算が確定した事業を「PPPショートリスト」に掲載しています。

- PPPロングリスト
- PPPショートリスト

⇒福岡市PPP/PFIトップページ



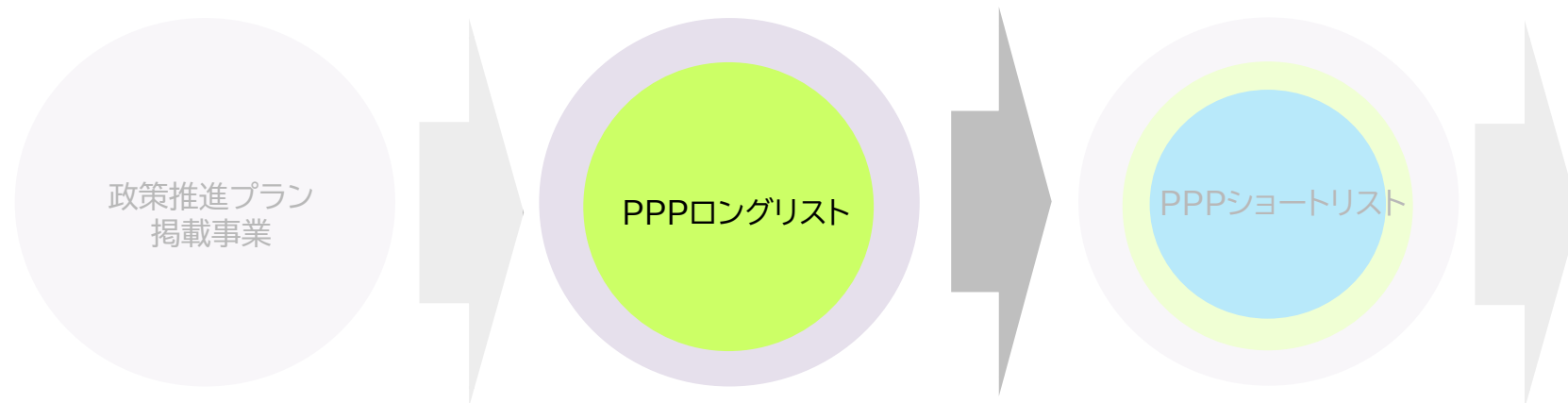
上記QRコードからアクセス

福岡市HP:URL

https://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/jigyo-suishin/ppp_pfi/keynote_for_PPP_H2604.html



PPPロングリスト





	事業名称等	所管局	事業概要
1	市営住宅の建替	住宅都市局	老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、将来にわたって、安定的な供給を行う。
2	学校の校舎等の改善・建替	教育委員会	老朽化が進む学校施設において計画的に改修・建替を行う。 (校舎、講堂兼体育館、プール等)
3	下水道事業	道路下水道局	改築更新・浸水対策・地震対策 など
4	水道事業	水道局	水源、浄水場整備事業・浄水場再編事業 など
5	公園等の有効活用	住宅都市局	広域から多くの利用者が集う公園等において、新規公園の整備や既存公園の再整備等に合わせ、公園等の資産を有効活用することで、公園に集う利用者のサービス向上を図る。
6	セントラルパーク構想の推進	住宅都市局	都心に近い貴重な緑地空間として広く市民に親しまれている大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の発信拠点となるような公園づくりを目指す。
7	アイランドシティ はばたき公園	港湾空港局	豊かな自然が存在するエコパークゾーンとの一体的な整備を行う。
8	アイランドシティ グリーンベルト の民間活用	港湾空港局	アイランドシティ中央公園とはばたき公園をつなぐグリーンベルト(緑地帯)のうち、はばたき公園側の区画の中に民間活用できる「活用エリア」を設け、都市公園と相乗効果が期待できる機能を誘導することで、グリーンベルトの魅力向上を図る。



PPPショートリスト



1) 対象事業一覧

	事業名	令和5年度の調査の種類	令和4年度までの進捗状況／令和5年度の取組(予定)
1	ウォーターフロント地区再整備事業 〔PFI-BTO及び運営権〕 〔住宅都市局、経済観光文化局、 港湾空港局〕	事業化手続業務	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、事業内容を見直しており、令和5年度は、ふ頭基部の事業化に向け、検討を行う。
2	福岡市博物館リニューアル推進事業 〔経済観光文化局〕 ※新規（ロングリストから移行）	最適事業方式調査	令和4年度は、リニューアル基本計画の策定、最適事業手法の検討を行った。 令和5年度は、引き続き最適事業手法の検討を行うとともに、リニューアル基本設計（基礎的設計）を行う。
3	西部工場再整備 〔環境局〕 ※新規（ロングリストから移行）	最適事業方式調査	令和4年度は基本計画の策定を行った。 令和5年度は事業方式の検討に必要な官民の役割分担や財政負担等に関する調査を行う。
4	今宿野外活動センター 民間活力導入検討 〔市民局〕 ※新規	最適事業方式調査	令和4年度は事業実施の可能性及びリニューアルにあたっての基本的な考え方について検討を行った。 令和5年度は施設計画や事業手法等の検討を行い、公募に向けた準備を行う予定である。



福岡市博物館リニューアル推進事業



1 これからの博物館のビジョン(案)とリニューアルの目標

博物館は、対外交流の最前線として挑戦を続け多様な文化を育んできた福岡の歴史から「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざす現在と未来の姿を発信し、地域文化の担い手である市民、次世代を担う子どもたちや世界からの来訪者と共有・交流する機能を果たす。

目標1 交流と多様性が創る都市の過去－現在－未来にむかうストーリーを発信する

目標2 すべての人の学び・楽しみを支え、人々の関わり合いを豊かにする

目標3 資産・資源をより有効に活用し、博物館とエリアの魅力を高める

2 施設整備の要点

(1) 次世代の活用を重視した博物館の基本機能の向上

① 展示のリニューアル

- ・ アジアに開かれた2000年来の歴史から「福岡の今」を実感し、「福岡の未来」を展望できるような展示空間を創出する。
- ・ 省エネ型高機能の照明設備の導入や展示空間の再編成等により、文化財を鑑賞する環境の向上を図る。 等

② 子どもの学び・次世代との共創に資する機能の充実

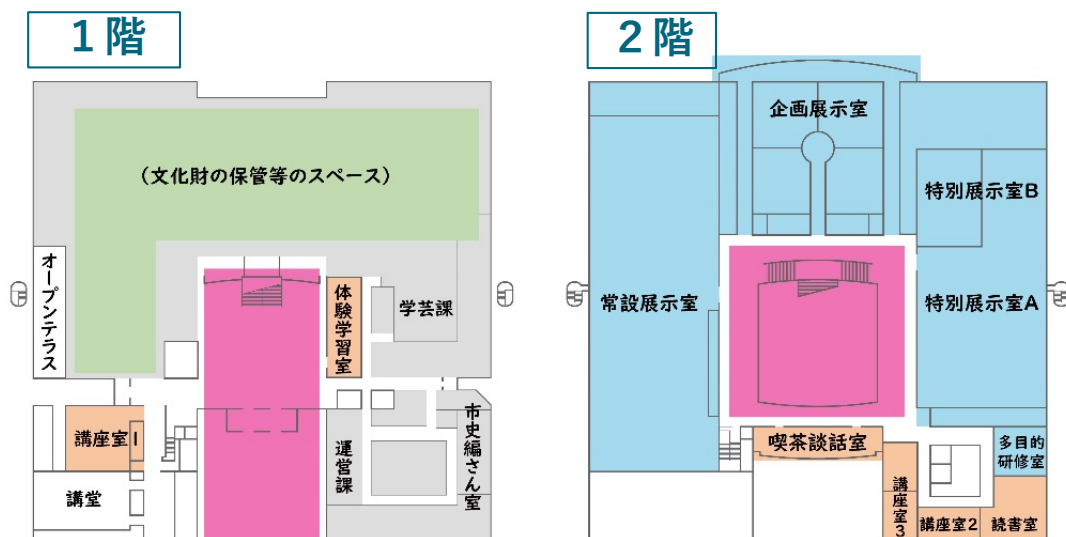
- ・ 就学前の子どもが安全に楽しく過ごせるキッズスペースを設ける。
- ・ 校外学習での活用を重視したガイダンスや休憩救護に適した設備やスペースを拡充する。 等

③ 文化財を守る機能の強化

- ・ 文化財の保管、調査研究、劣化対策のための設備更新やスペースの拡充を行い、歴史文化を次世代へ継承する機能を強化する。

(2) 共用部分の交流機能拡充

- ・ 玄関やロビーの大空間を、国際会議のレセプションやイベント会場として活用しやすくする設備を拡充する。



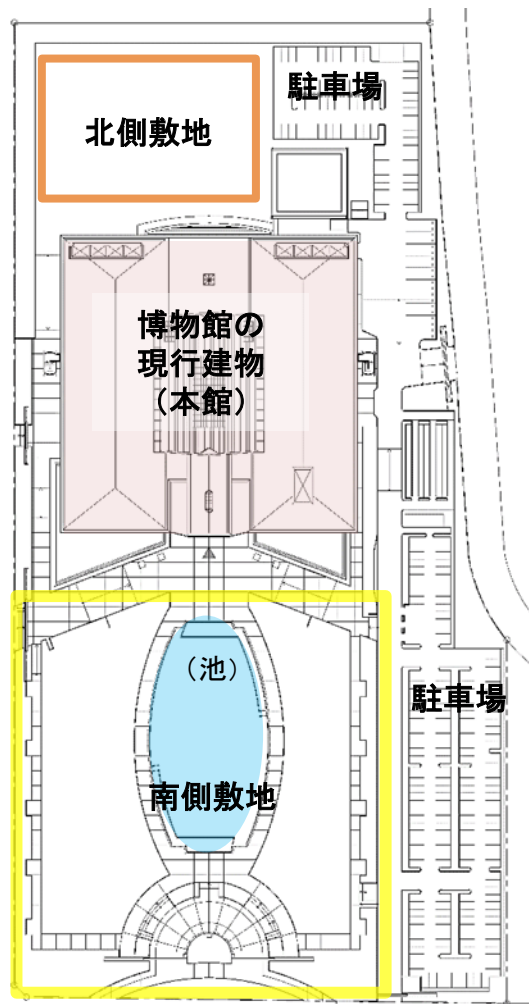
(1) -① 展示のリニューアルを
検討

(1) -② 学び・共創に資する
機能の充実を検討

(1) -③ 文化財を守る機能の
強化を検討

(2) 共用部分の交流機能拡充を
検討

（3）敷地の活用



① 北側敷地の施設の増築

- 市民の財産である博物館資料や、さまざまな文化遺産を次世代へ継承する機能を強化するため、収蔵庫棟を増築する。
- 収蔵庫棟は本館（現行の建物）の改修に先行して工事を完了させ、本館工事中に収蔵資料を保管する。

② 南側敷地の改修

- 地域に開かれた花と緑のオアシス空間となる広場へ改修する。
- 敷地を取り囲む植栽帯の改修等により、「敷地西側のサザエさん通り」との一体感を向上させる。



- 敷地中央の池の改修による広場の拡張や物販・飲食等のサービス施設の設置等により、にぎわい空間を創出する。

③ 駐車場の改修

- 狭い車路や駐車区画の改善等の再整備を実施する。
- 大型バスの駐車や乗降スペース等を整備する。
- EVステーションの設置を検討する。

（４）施設全体の整備要件

- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進する。
- ・ 感染症対策、セキュリティ、防災・減災機能を強化する。
- ・ 脱炭素化を推進する。

3 事業スケジュール

R05年度

R06年度以降

事業手法の検討結果等を含めた基本計画（案）を報告予定

★ 事業者の選定の準備（基本設計）

事業者選定

設計・工事

博物館の休館

リニューアルオープン

北側敷地に増築する収蔵庫棟の設計

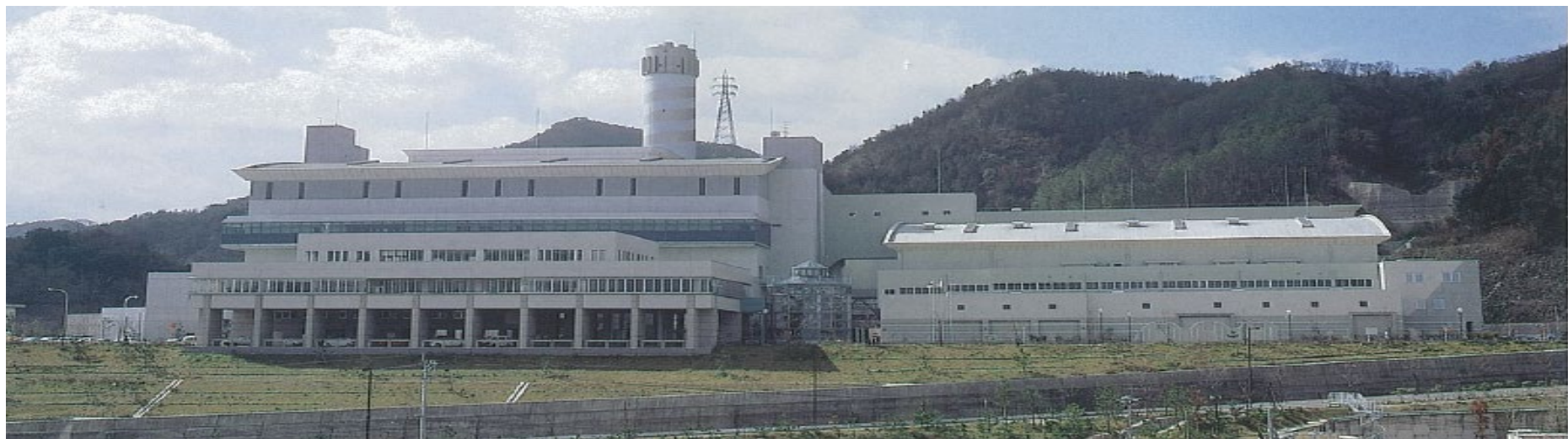
収蔵庫棟の工事

休館中の収蔵品を保管

本館リニューアルの設計・施工を実施する事業者や、南側敷地での物販や飲食等の販売事業者の参画を期待しています。
また、博物館の魅力向上や施設の効果的・効率的な運用を図るため、民間活力の導入も検討します。



西部工場再整備



西部工場外観(左:西部工場、右:西部資源化センター)

第1章から第3章まで

(1) 基本計画について

- ・西部工場は稼動開始後約30年経過しており、老朽化が進行している。安定的かつ効率的なごみ処理体制を確保するため、令和3年4月に西部工場再整備の検討に着手した。
- ・令和4年3月に策定した西部工場再整備基本構想では、再整備の基本的な考え方をまとめた。「(仮称)新西部工場基本計画」は、基本構想を基に、(仮称)新西部工場（以下「新工場」という。）の主な設備や附帯機能など基本的な要件に関する方針を定めるために策定

(2) 施設規模・炉構成

新工場で処理が必要な可燃ごみ量に、今後更なるプラスチックごみの減量施策に取り組んでいくことを見込むとともに、定期修理などの停止を考慮した計画稼働率及び災害廃棄物等に対応する焼却余力を考慮し、施設規模は「690トン/日」とする。

また、安定的な処理の継続のため、焼却炉は3炉構成とする。

(3) 環境保全

厳しい水準の排ガス基準値を設定し、周辺環境への影響を低減する。

その他の基準（排水、騒音等）についても、関係法令等を遵守した上で、周辺環境に一層配慮する。

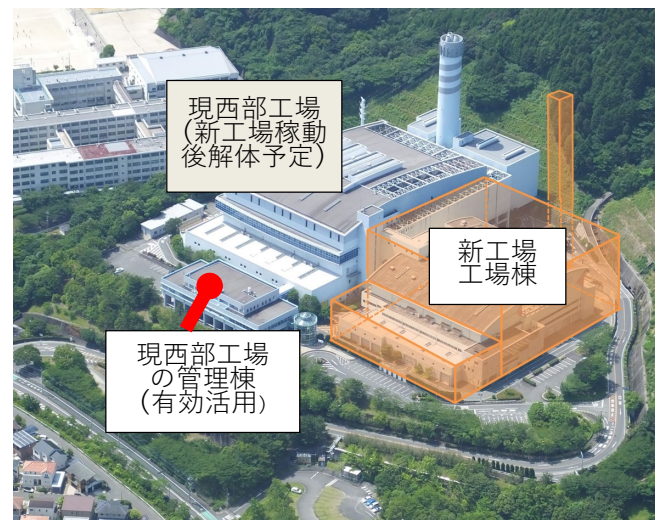
項目	排ガス基準値 ()は法規制値	(参考)福岡 都市圏南部工場
ばいじん (mg/m ³ N)	10 (40)	10
塩化水素 (ppm)	20 (約430)	30
硫黄酸化物 (ppm)	30 (約900)	30
窒素酸化物 (ppm)	80 (約250)	100
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	0.1 (0.1)	0.1
水銀 (μg/m ³ N)	25 (30)	25

第4章 プラント・建築計画

(1) 工場棟・管理棟

工場棟はコンパクトなものにすることに努め、背景となる山並みの眺望の確保を図る。

管理棟は現西部工場の管理棟を改修・補修し、再利用することで、施設の有効活用を図る。



施設配置のイメージ図

(2) 受入・供給設備

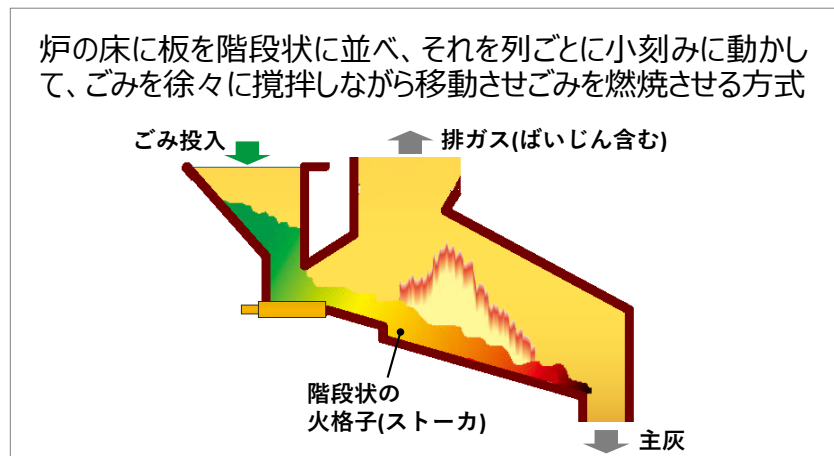
ごみピットは一時的に搬入量が増加した場合でも貯留できる容量を確保する。また、粗大ごみを受け入れる専用ピットも設け、利便性の向上を図る。

ごみクレーンはA I (人工知能)技術などを採用し、効率的な自動運転が可能なものとする。

第4章 プラント・建築計画

(3) 焼却設備

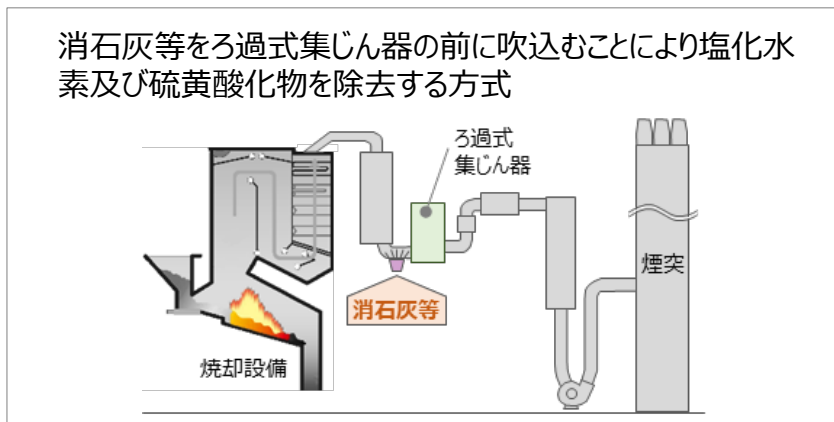
焼却の処理方式は安定的なごみ処理の実現やエネルギー消費量などを総合的に考慮し、「ストーカー式焼却方式」とする。



ストーカー式焼却方式の概要

(4) 排ガス処理設備

排ガス処理方式は設備の大きさやエネルギー回収効率への影響などを総合的に考慮し、「乾式」の排ガス処理とする。



乾式の排ガス処理方式の概要

第5章 エネルギー利活用機能

(1) エネルギー回収の高効率化

ボイラ蒸気の高温・高圧化などによりエネルギー回収の高効率化を実現する(効率 24%以上)。
(参考 現西部工場：10.9%、福岡都市圏南部工場：22.7%)

(2) 自然エネルギーによる発電設備の導入

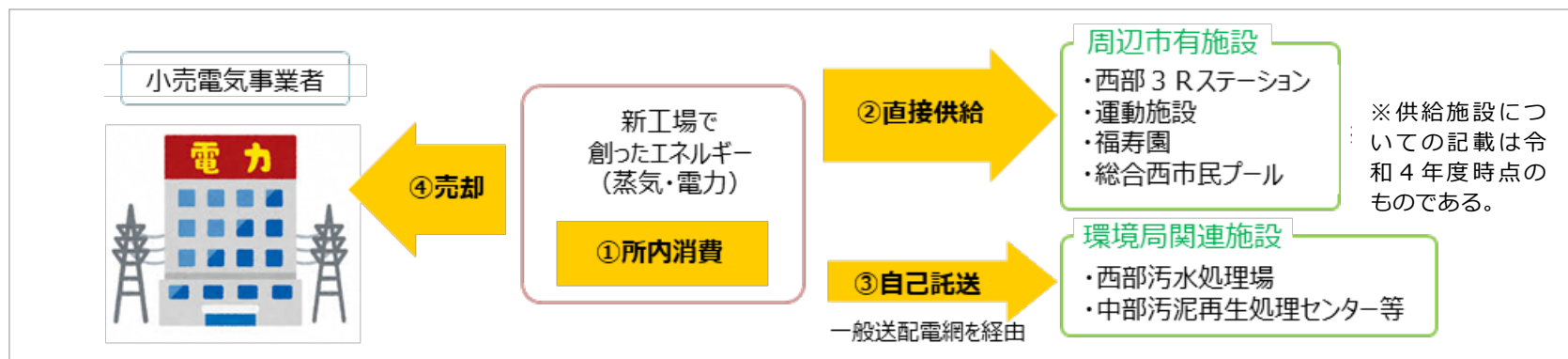
設置条件などを考慮した上で、太陽光発電などの自然エネルギーによる発電設備を導入する。

(3) 施設の省エネルギー化

プラント設備、建築設備、建築物において、高効率なモータや空調換気設備など省エネルギー技術を採用する。

(4) エネルギーの活用と供給

活用・供給は、現西部工場の現状を踏まえたものとし、脱炭素社会の実現に寄与する。



第6章 防災機能

(1) 施設の強靱化

耐震安全性の確保

災害時でもごみ処理を継続するため、耐震安全性は一般的な施設よりも高い水準とする。

土砂災害対策

法面や建物の土砂災害対策を適切に行うことに加え、複数のアクセス確保のために追加の場内道路の整備を検討する。

停電対策

停電時に焼却炉を起動可能な非常用発電設備を設ける。

ごみ処理に必要な薬品の供給断絶・断水対策

薬品の供給断絶や断水時においても、薬品・水を確保できる貯留設備とする。

(2) 災害廃棄物への効率的な対応

粗大ごみ受入・処理設備

粗大ごみ用のピットと破碎設備を設け、災害時には災害廃棄物を迅速に処理する。

大型車への対応

災害廃棄物を積んだ大型車による災害廃棄物の搬入に対応できるものとする。

第6章 防災機能

(3) 防災活動のサポート拠点

周辺の停電時に、新工場の廃棄物発電による電力で災害時電源として活用できるよう、電気自動車を充電する設備を設ける。



第7章 環境学習機能

施設内に見学通路を設けることで、ごみ処理設備の実物をガラス越しに見学できることなどにより、動きや役割を学習可能とする。

なお、「ごみ減量や分別の大切さを学べるもの」や「地球温暖化対策についても学べるもの」とする。



巨大なごみクレーンでの投入の様子



24時間体制の運転・監視の様子

(仮称) 新西部工場基本計画 (案) 概要

第8章 施設整備スケジュール

令和6年度までに工事の発注準備や環境影響評価を行い、新工場については、令和7年度以降に建設工事を進め、令和13年度頃に稼動できるよう進めていく。

	R5 年度 (2023)	R6 年度 (2024)	R7 年度 (2025)	～	R13 年度頃 (2031)	～
新工場	発注準備・ 環境影響評価		建設工事 ※資源化センター解体工事も含む			稼動
現西部工場	稼動					解体 工事

※現時点でのスケジュールであり、今後変更になる可能性あり

今後、PPPプラットフォームなどを通じて、定期的に情報発信していきます。



今宿野外活動センター—民間活力導入検討



1. 検討の趣旨

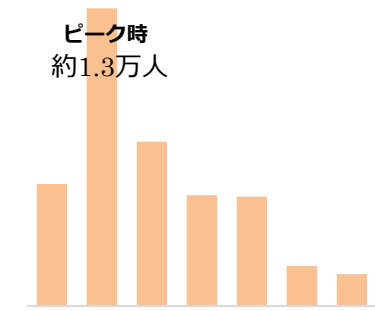
- 今宿野外活動センター（以下「センター」という。）は、野外活動、自然教育等を行う施設として昭和47年に開設され、50年が経過している。
- センターは老朽化が進むなど課題を抱える一方で、良好なアクセスや周辺自然環境など、身近で市民が野外活動を行える魅力を持っており、「Fukuoka Green Next」では「遊びの森ゾーン」の活動拠点に位置付けられている。
- これらの状況を踏まえ、今後とも野外活動の場として市民に親しまれ、より魅力ある施設となるよう、施設のリニューアルや運営の方向性など、今後のあり方を検討するもの。

2. 施設の概要

- ・所在地 福岡市西区今宿上ノ原217-2
（玄海国定公園内）
- ・供用開始 昭和47年11月
- ・敷地面積 約33ha(うち利用面積 約9 ha)
- ・指定管理料 指定管理料支出 45,318千円 (R1)
施設使用料収入 458千円 (R1)



【宿泊者数の推移(人)】



3. 施設の魅力・課題

【施設の魅力】

- ◆ 博多湾を見下ろすロケーション
- ◆ 市街地からの容易なアクセス
- ◆ 水遊びができる敷地内の七寺川
- ◆ 近接する叶岳・高祖山登山口



博多湾が望める立地



七寺川での川遊び

【施設の課題】

- ◆ 施設の老朽化(築 50 年が経過)
- ◆ 大人数仕様の宿泊施設
- ◆ 宿泊者数の減少(ピーク時から大きく減少)
- ◆ 低額な使用料収入(指定管理料の約 1%)



外壁の剥離



大人数向けのロッジ

市民が気軽に自然を楽しむ場としての魅力は持つものの、施設の老朽化や利用形態の変化等に対応できておらず、財政負担も生じており、施設のリニューアルや運営方法の見直しが必要。

4. ヒアリング意見

あり方の検討にあたり、アウトドア関連等の民間事業者や施設管理者、地元へのヒアリングを実施

【主な意見】

- 都心部からのアクセスが良く、敷地内に川があるなど、**立地条件等のポテンシャルは高い。**
- **野外活動を体験・実施できる場所として重要な場所**
- 子供たちが遊べる場所（日帰り利用）は残してほしい。
- センター発着のコミュニティバスと連動するなど**集客できる施設**としてほしい。
- **地産品などの販売エリア**を設けてはどうか。
- 叶岳などの**登山客の利用も踏まえたリニューアル**をしてほしい。






5. リニューアルの基本的な考え方

- ・ **市民ニーズや利用形態の変化に柔軟に対応し、より魅力ある施設に再生**
- ・ **周辺自然環境など施設が持つ魅力を最大限活用して多様な自然体験を提供し、賑わいを創出**
- ・ **より質の高いサービスの提供と財政負担の縮減を図るため、民間の創意工夫やノウハウを導入**



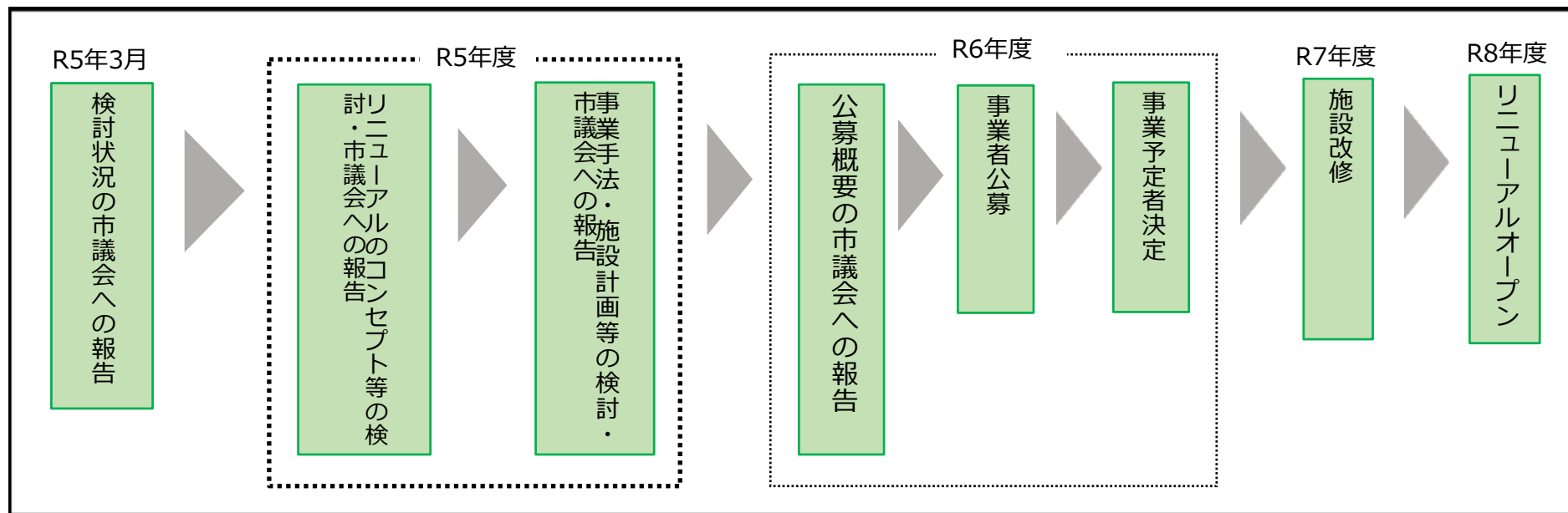
今宿野外活動センターのあり方検討について（検討状況報告）

【リニューアルのイメージ】

必要な機能(想定)	考え方・内容
<p>自然体験機能</p>	<p>○叶岳や七寺川などに囲まれた豊かな自然環境を活かして、誰もが気軽に自然体験や野外活動ができる場を引き続き確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由広場での野外活動等の場の ・自然体験プログラムの実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>野外料理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昆虫観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野外ヨガ</p> </div> </div>
<p>宿泊・デイキャンプ機能</p>	<p>○民間のノウハウや創意工夫により、テントサイトの充実やデイキャンプ利用を想定した設備など、利用者ニーズに対応した、より質の高いサービスを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントサイトの拡充 ・電源付サイトの導入などによる利便性向上 <div style="text-align: right;">  </div>
<p>地域連携機能</p>	<p>○地域農産物の提供や集客イベント開催などにより、センター周辺を含めた地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域農産物の販売 ・産直マルシェなどの開催 <div style="text-align: right;">  </div>

6. 今後のスケジュール（案）

事業手法や事業期間等について詳細の検討を進め、民間事業者公募に向けて取り組んでいく。



今後の検討・進捗状況については、プラットフォームにおいて年度内の報告を予定しております。

おわりに) 民間提案等制度について

○制度概要

区分	民間発案 (PFI法に基づかない任意の発案)	民間提案 (PFI法第6条に基づく提案)
受付対象事業	PPPロングリスト掲載の事業の他 福岡市政策推進プラン掲載の事業	PPPショートリスト掲載の事業
受付提案内容	PPP事業化に向けたアイデアの提案 ※ 実施手法, 事業計画, 民間ノウハウ等	PFI事業の実施方針案の提案 ※ ただし, 実施方針が公表された事業は除く
募集開始	PPPロングリスト公表時より受付開始 受付期限はなし。随時受付 ※ PPPロングリストは毎年4月に公表	PPPショートリスト公表時より受付開始 受付期限は6月末まで ※ PPPショートリストは毎年4月に公表
提案受付最終期限	PPPショートリスト掲載前まで	PFI事業の基本計画策定時公表まで

**発案・提案を検討している事業がありましたら、
まずはご相談ください。**

◎皆様からの**民間発案・提案**について受け付けています。

詳しくは下記URLからご確認ください

【市ホームページ】「民間提案等制度」

URL : http://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/jigyo-suishin/ppp_pfi/index.html

※ ページ中段「民間提案等制度」からご確認ください。

【お問い合わせ先】

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8-1(本庁舎3階)
TEL:092-711-4804
FAX:092-733-5868
E-mail: daikibo.FB@city.fukuoka.lg.jp



福岡市PPPロングリスト、ショートリストからの 事業紹介等について

END